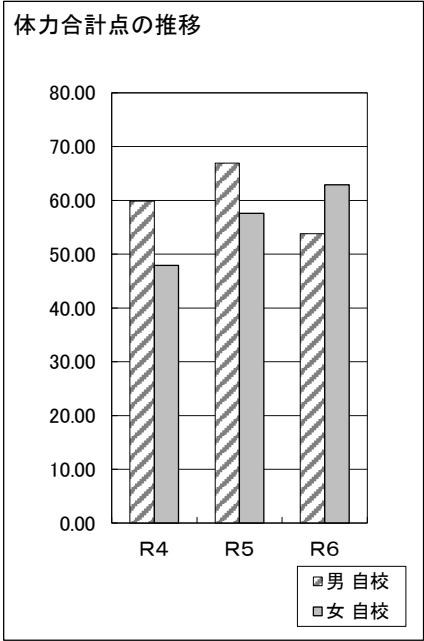
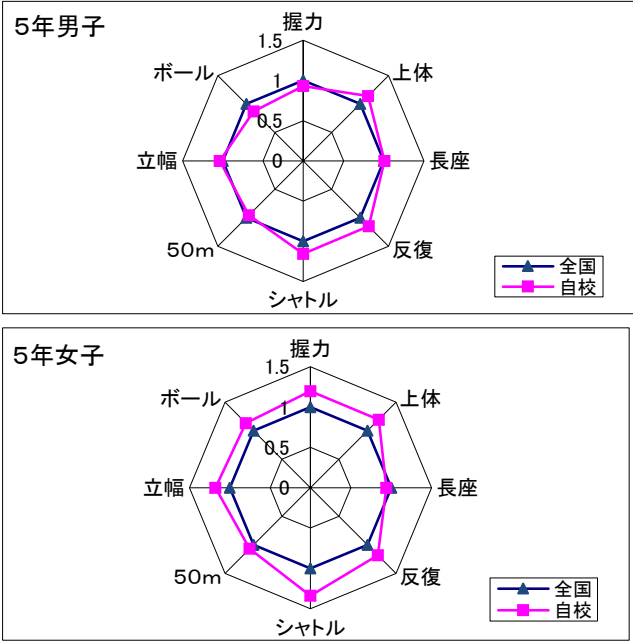


学校名	小19 両城小学校
-----	-----------

1 自校の実技結果と全国平均との比較

学年	性別		R6平均値								体力合計点		
			握力 (kg)	上体 (回)	長座 (cm)	反復 (点)	シャトル (回)	50m (秒)	立幅 (cm)	ボール (m)	R4	R5	R6
5年	男	全国	16.02	19.19	33.79	40.67	46.90	9.50	150.46	20.74	52.29	52.60	52.54
		自校	14.90	21.90	34.10	46.70	54.20	9.90	156.20	18.10	59.86	66.90	53.80
		比較	△	○	○	○	○	△	○	△	○	○	○
	女	全国	15.78	18.16	38.21	38.71	36.60	9.76	143.18	13.15	54.32	54.29	53.93
		自校	18.90	21.70	35.90	45.70	49.00	9.10	168.70	14.90	47.90	57.60	62.90
		比較	○	○	△	○	○	○	○	○	△	○	○

※全国平均以上の種目…○ 全国平均未満の種目…△



2 重点種目の結果についての分析

呉市の重点種目	中学校区の重点種目 ※義務教育学校は、自校の重点種目	自校の重点種目 ※義務教育学校は、前期課程の重点種目
50m走	立ち幅とび	握力
〈成果と課題〉 第5学年が男子9名女子7名と人数が少ないため少数でも記録が芳しくない場合に平均値に大きく影響する。内訳をみると全国平均を上回った児童が男子44.4%、女子100%であり、男子に課題がある。休憩時間に外で遊ぶ姿はよく見られるが、走力の向上に繋がる遊びをしていない児童も多く見られることが課題である。	〈成果と課題〉 男女ともに全国平均を上回っている。内訳をみると男女ともに個人差が大きく、平均を大きく上回っている児童が大きく下回っている児童をカバーする形で達成している。事前に正しいフォームを周知することで平均を上回る児童がいた。一方で、平均を大きく下回っている児童について、跳び方やフォームの定着に課題がある。	〈成果と課題〉 男子が全国平均を上回っていない。内訳をみると男子44.4%、女子71.4%の児童が全国平均を上回っている。朝の時間のグーパー体操や委員会活動でのイベント開催などに取り組んだが、男子については15kg未満の児童が44.4%いる。取組に一定の成果は見られるものの、フォームが正しくても結果が伴わない児童も見られる。

3 児童質問紙調査の結果及び分析

運動やスポーツをすることが好きな児童の割合			朝食を毎日食べる児童の割合			1週間の総運動時間が60分以上の児童の割合		
男子	全国	93.3	男子	全国	81.3	男子	全国	90.8
	自校	88.9		自校	88.9		自校	88.8
女子	全国	86.2	女子	全国	79.5	女子	全国	84.0
	自校	100.0		自校	85.8		自校	100.0
〈成果と課題〉 男子が88.9%ではあるが、「やや嫌い」と回答した児童が1名で、「嫌い」と回答した児童はいなかった。運動やスポーツが好きな児童がほとんどであるといえる。学校での独自調査でも全校で93%が肯定的評価をしており、体育の学習などでも達成感を味わったり、楽しく運動に取り組んだりすることができている成果と考えられる。			〈成果と課題〉 どちらも全国平均を上回っているが、男女ともに1人が否定的回答をしている。学校での独自調査では、学校全体で93%の児童が毎日朝食を食べていると回答している。生活習慣調査や学校評価アンケートなどでも保護者への周知を行った成果である。否定的回答をした児童が一定数いることが課題であり、個別に対応を行う必要がある。			〈成果と課題〉 男子1名が60分未満と回答している。休憩時間は外遊びを推奨しており、習い事で運動の時間が確保されている児童もそうではない児童もほとんどが達成することができている。休憩時間の外遊びを推奨している成果であると考えられる。遊び方が固定化していることが課題であるため、遊び方の紹介なども行っていく。		